



毎日の中のささいな楽しみを、
みなさんにお届けするお便りです

心がホッとあたたまるようなことなど
家のことや暮らしのことはもちろん、日々のこと、
それからソラマドのことも♪綴っていきます

● 2019年 明けましておめでとうございます ●

明けましておめでとうございます。

2019年、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

今年も、ソラマド埼玉恒例のお餅つきを行いました！

毎年このお餅つきが機会となって、OBさんにお会いできるのを楽しみにしています。

年々、大きくなっていくOBさんのお子さんの成長を感じることができ、暮らし方の変化を伺える機会にもなっています。

今年は、社長の鈴木の家で開催し、お雑煮は社長お手製！出汁が大根に染みている、外でストーブの前で暖まりながら皆で食べるお雑煮は格別でした。



2019年も、様々なLifestyle Workshopを開催していきますので、ぜひお気軽に遊びに来てください◎

● お家作りについて考えよう！ 階段編 ●

ソラマド埼玉では、建設候補地が決まりプラン提案をさせて頂く前に、お客様に宿題を出させて頂いています。

私たちが「ビジュアルボード」と呼んでいるA3の方眼用紙を2枚お渡ししており、その用紙に、どんな暮らしがしたいか、どんなものが好きか、写真や絵、文章、方法は問わず自由に表現して頂きます。

それを基に設計士がプランを作成しています。

そうすることで、暮らしのイメージをより感覚的にお客様と共有できると共に、お客様自身にビジュアルボードを作成して頂きながら、暮らしのイメージを膨らませて貰うことも目的としています。

今年のそらのおとでは、そんな暮らしのイメージをより具体的に
していただけるきっかけになるよう、1つのテーマに関して、
デザイン性や、利便性、機能性など、様々な側面から探求してみようと思います。

今回のテーマは階段。

お家における階段の存在感は大きく、デザインによって空間の印象をがらりと変えることができます。また、1階と2階をつなぐ空間として、機能性もしっかりと考えたいところです。

たくさんの光が入る明るいお家を目指すソラマドで良く使われるのは、
踏板と呼ばれる足をのせる板とそれを支え繋げる力桁のみで作られた階段や、
蹴込み部分に板がないスケルトン階段。
スタイリッシュな見た目だけでなく、光を1階に落とし、いわば吹抜けのような役割を果たしてくれます。
階段部分の壁に大きな窓を付けることで、その効果も高まります。

一方で、右の写真の階段の様に、階段下に扉をつけて収納スペースとして活用することもできます。上記にあげたミニマルなデザインの階段とは空間の解放感も異なるので、1階と2階をゆるくつなげたいか、またはしっかりと仕切りたいのか、その考え方によっても検討することが出来ます。

また、材によっても階段の雰囲気は大きく変化します。
ソラマド埼玉で木を使った階段を作る時に多く使用するのは、ゴム集成材。
アイアンと組み合わせるとスタイリッシュさが加わります。
材は何を使い、どんな形で、どのように配置するのか、...。考えてみると面白いです。



● スタッフのつぶやき ●



今月の担当: 竹内

2019年、新しい年がスタートしました！本年もよろしく願い申し上げます。

はじめまして。

設計を担当しています竹内です。

オガワホーム時代から入社して2年目で入社年数は浅いですが、打合せを通して話しさせて頂く中で、お施主様の想いに寄り添いながら、暮らしの経過と共に変化していく生活スタイルに合わせた提案ができるように努めていきたいと思っています。